

宮城県の「田んぼダム」普及拡大に向けた取組について～普段は田んぼ、時々ダム。～



背景

近年頻発している豪雨や台風などによる水災害への備えとして、地域全体が協働して治水対策に取り組んでいくことが重要とされている中、洪水や浸水被害のリスクを緩和する『田んぼダム』が注目されています。

宮城県では令和3年度に市町村、土地改良区、農業者組織が参画する「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」（事務局：宮城県、大崎市）を設立し、田んぼダムについての理解醸成と県内全域への普及・促進を図る取組を行っています。



平成27年9月 関東・東北豪雨（大崎市／多田川）



令和4年7月 大雨災害（大崎市／名蓋川）

取組①：県施策における田んぼダムの目標面積を設定

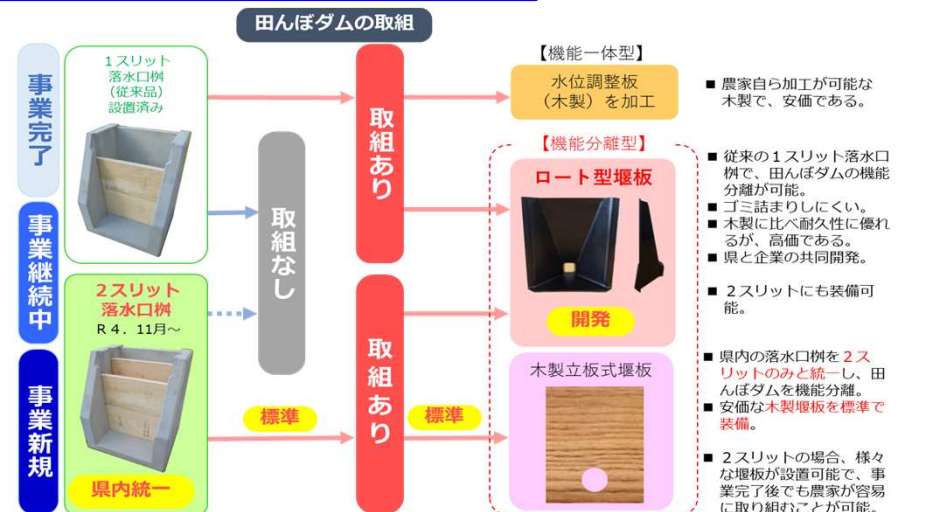
■ 第3期みやぎ農業農村整備基本計画（R3～12）

施策7（基本項目3関連） 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化

- ① 農村の防災機能の充実
- ② 田んぼダム等農村地域の有する洪水調節機能の効果的な発揮
- ③ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進
- ④ 農村地域の生活環境の維持

➡ 目標取組面積を具体化：
令和12年度までに農地整備実施地区で630ha

取組②：田んぼダムの調整板の開発



- ① ルート型堰板の開発（県内企業と共同開発）
- ② 農地整備事業では2スリット落水口柵（田んぼダム対応）を標準仕様に

取組③：県単独事業の創設

R3～4：田んぼダム導入促進効果検証モデル事業

R6～：田んぼダム普及拡大推進事業

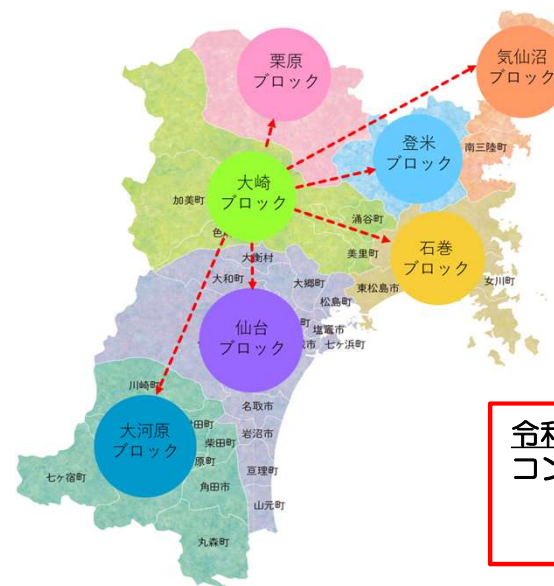
事業内容：田んぼダムの効果検証、堰板配布、普及活動に係る経費等

取組④：推進体制の構築→「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム」設立

構成員：27市町村、38土地改良区、4農業者組織

主な活動内容：

田んぼダムの普及・啓発活動（シンポジウム開催、ワーキンググループ等）、効果検証、会員間の情報共有



令和3年6月 コンソーシアム設立総会

令和6年度時点の会員数

コンソーシアム加入率：65/82（79%）

市町村：27/35（77%）

土地改良区：38/47（80%）

(1) 普及啓発活動

① 田んぼダムシンポジウム開催による啓発

田んぼダムの理解促進、普及拡大を図るため、毎年シンポジウムを開催



シンポジウムの開催状況 (R6.10.25) 会場内展示ブースの状況 (R6.10.25)
(田んぼダム、スマート農業関連企業)

令和6年度宮城県田んぼダム・アグリテックシンポジウム開催概要

日程：10月25日(金)

主催：宮城県田んぼダム実証コンソーシアム

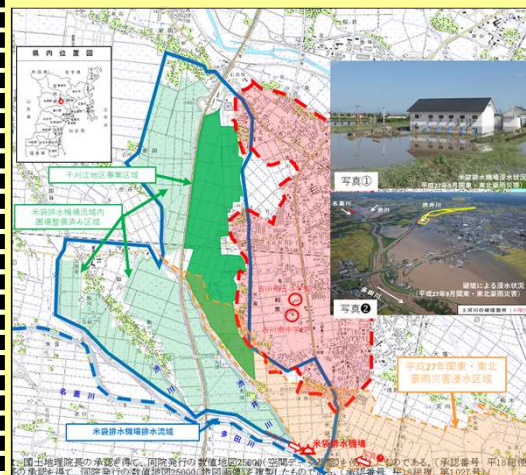
開催場所：中新田パッハホール(加美郡加美町)

参加人数：255名(市町村、土地改良区、農業者、関係機関等)

講師：気象庁、国土交通省、農林水産省、新潟大学、(株)クボタ、大崎市有機農業・グリーン化推進協議会、宮城県

(2) 効果検証の実施

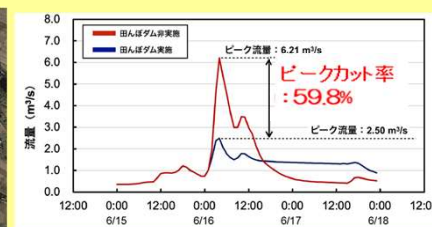
田んぼダムの効果を可視化するために、令和3年度から大崎市内のほ場整備実施地区において、効果検証を実施(宮城県古川農業試験場、新潟大学)



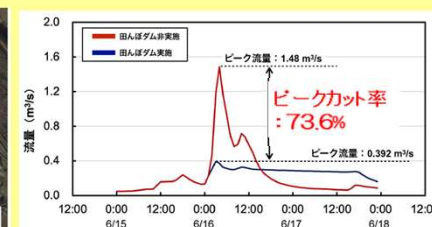
R3~4年度効果検証結果実施エリア
(大崎市千刈江地区)



R5年度田んぼダムの効果検証結果(概要)(田尻西部地区)



R5年度田んぼダムの効果検証結果(概要)(下野目東部地区)



② 圏域ごとのワーキンググループの実施

- ・県内7圏域に設置したワーキンググループでは定期的に勉強会を実施
- ・ほ場整備実施地区(計画地区)の推進委員会においても普及活動
- ・田んぼダムキャラバンの開催



ワーキンググループ実施状況

③ 学校教育との連携(田んぼダム出前講座)

県内の小中学校等を対象に出前講座を開催し、田んぼダムの仕組みや地域の防災について分かりやすく解説



出前講座の実施状況

(3) PR動画の作成(R3年作成)

■ 動画タイトル
仕組み丸わかり! 模型で実験
「田んぼダム~普段は田んぼ、時々ダム~」

■ YouTubeで検索

田んぼダム 仕組み

■ 動画URLから QRコード
<https://www.youtube.com/watch?v=UwxhMoxNqX0>



(4) 取組面積の推移

()は農地整備事業分



(5) 現状と今後の課題

現状:
田んぼダムの認知度向上や推進体制を強化を図ったが、市町村・改良区の加入率は約8割である。山間部の独立した水系を持つ市町の加入率が低いことが課題。

課題:

- ・更なる取組面積拡大
- ・コンソーシアム参画率の向上
- ・持続的な取組
- ・流域一体となった取組

